

様式 1 客観的評価指標による事業採択の前提条件、事業の効果や必要性の確認の状況

事業名	一般国道289号 八十里越
事業主体	北陸地方整備局

●事業採択の前提条件を確認するための指標

		指 標	指標チェックの根拠
前提条件	事業の効率性	<p>■ 便益が費用を上回っている</p>	<p>○費用 ・事業全体:事業費637億円(170億円) 、維持管理費13億円(13億円)</p> <p>○効果 ①災害時の迂回解消を含めた走行時間の短縮等 706億円(706億円) ②災害による被害の回避 ・観光消費額減少の回避 100億円 ③地域住民の不安解消 ・只見地区において、通行不能区間が解消することによる不安感が解消される。 ※()内の数値は残事業の効果</p> <p>(注1)事業の効果に記載している金額は、防災面の効果を完成後50年間の便益額として現在価値化して算出した値であり、試算値を含む。 (注2)費用に記載している金額は、現在価値化して算出した値。</p>

●事業の効果や必要性を評価するための指標

政策目標	指 標 (対象となる指標のみ記載。効果が確認されるものは口を■に変更)	指標チェックの根拠	
1. 活力 当	円滑なモビリティの確保	<p>○ 現道等の年間渋滞損失時間及び削減率</p> <p><input type="checkbox"/> 現道等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される</p> <p><input type="checkbox"/> 現道又は並行区間等における踏切交通遮断量が10,000台時/日以上踏切道の除却もしくは交通改善が期待される</p> <p><input type="checkbox"/> 現道等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する</p> <p><input type="checkbox"/> 新幹線駅もしくは特急停車駅へのアクセス向上が見込まれる</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 拠点空港(会社管理空港・国管理空港、特定地方管理空港)、地方管理空港もしくは共用飛行場へのアクセス向上が見込まれる</p>	<p>・対象空港:新潟空港(国管理空港)、対象自治体:只見町 (只見町(役場)~新潟空港、186分⇒116分 時間短縮率38%)</p>
	物流効率化の支援	<p><input type="checkbox"/> 重要港湾もしくは特定重要港湾へのアクセス向上が見込まれる</p>	

1. 活力		<ul style="list-style-type: none"> ■ 農林水産業を主体とする地域において農林水産品の流通の利便性が向上 	<ul style="list-style-type: none"> ・農林水産業を主体とする自治体（地区）：只見町、三条市（旧下田村） ・只見町で生産される青果物はこれまで会津若松公設卸売市場へ出荷。 ・当該路線の整備により、只見町から三条市の各種卸売市場へのアクセスが容易になる。 ・只見町（役場）～三条市卸売市場間 140分 ⇒ 84分 短縮率40% 	
	都市の再生	<ul style="list-style-type: none"> ■ 現道等における、総重量25tの車両もしくはIS0規格背高海上コンテナ輸送車が通行できない区間を解消する 	<ul style="list-style-type: none"> ・現道における総重量25tの車両もしくはIS0の規格背高海上コンテナ輸送車が通行できない区間を解消する。 	
	国土・地域ネットワークの構築	<input type="checkbox"/> 都市再生プロジェクトを支援する事業である		
		<input type="checkbox"/> 地域高規格道路の位置づけあり		
		<input type="checkbox"/> 当該路線が隣接した日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡する路線を構成する		
		<ul style="list-style-type: none"> ■ 現道等における交通不能区間を解消する 	<ul style="list-style-type: none"> ・現道における交通不能区間：事業区間、及び福島県施工区間にまたがる19.6kmに交通不能区間あり。 	
		<ul style="list-style-type: none"> ■ 現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消する 	<ul style="list-style-type: none"> ・現道の大型車のすれ違い困難区間を解消する。 	
	個性ある地域の形成	<input type="checkbox"/> 日常活動圏の中心都市へのアクセス向上が見込まれる		
		<input type="checkbox"/> 鉄道や河川等により一体的発展が阻害されている地区を解消する		
		<input type="checkbox"/> 拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規模イベントを支援する		
<ul style="list-style-type: none"> ■ 主要な観光地へのアクセス向上が期待される 		<ul style="list-style-type: none"> ・観光地名：寺泊海水浴場 年間観光入込客数：21万人 大内宿（下郷町） 年間観光入込客数：116万人 ・大内宿（下郷町）～寺泊海水浴場 276分⇒ 217分 短縮率21% 		
<input type="checkbox"/> 特別立法に基づく事業である				
<input type="checkbox"/> 新規整備の公共公益施設へ直結する道路である				
2. 暮らし	歩行者・自転車のための生活空間の形成	<input type="checkbox"/> 自転車交通量が500台/日以上、自動車交通量が1,000台/12h以上、歩行者交通量が500人/日以上に全ての区間において、自転車利用空間を整備することにより、当該区間の歩行者・自転車の通行の快適・安全性の向上が期待できる		
		<input type="checkbox"/> 交通バリアフリー法における道路特定事業に位置付けがある、または、交通バリアフリー法に基づく重点整備地区における特定経路を形成する区間が新たにバリアフリー化される		
	無電柱化による美しい町並みの形成	<input type="checkbox"/> 対象区間が電線類地中化5ヶ年計画に位置づけ有り		
		<input type="checkbox"/> 市街地又は歴史景観地区（歴史的風土特別保存区域及び重要伝統的建造物保存地区）の幹線道路において新たに無電柱化を達成する		
安全で安心できるくらしの確保	<ul style="list-style-type: none"> ■ 三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる 	<ul style="list-style-type: none"> ・対象となる三次医療施設：会津中央病院（会津若松市） 長岡赤十字病院（長岡市） ・対象となる自治体：只見町 ・只見町（役場）～会津中央病院 133分（整備なし） ・只見町（役場）～長岡赤十字病院 122分⇒ 106分 短縮率13% 		
3. 安全	安全な生活環境の確保	<input type="checkbox"/> 現道等に死傷事故率が500件/億台キロ以上である区間が存在する場合において、交通量の減少、歩道の設置又は線形不良区間の解消等により、当該区間の安全性の向上が期待できる		
		<input type="checkbox"/> 当該区間の自動車交通量が1,000台/12h以上（当該区間が通学路である場合は500台/12h以上）かつ歩行者交通量100人/日以上（当該区間が通学路である場合は学童、園児が40人/日以上）の場合、又は歩行者交通量500人/日以上の場合において、歩道が無い又は狭小な区間に歩道が設置される		
	災害への備え	<ul style="list-style-type: none"> ■ 近隣市へのルートが1つしかなく、災害による1～2箇所の道路寸断で孤立化する集落を解消する 	<ul style="list-style-type: none"> ・孤立する集落：笠堀地区 対象となる近隣市：会津若松市 事業前のルート：国道289号（三条市方面が寸断された場合孤立） ・孤立する集落：中ノ平・入叶津地区 対象となる近隣市：三条市 事業前のルート：国道289号（只見町方面が寸断された場合孤立） 	

		<p>対象区間が、都道府県地域防災計画、緊急輸送道路ネットワーク計画又は地震対策緊急整備事業計画に位置づけがある、又は地震防災緊急事業五ヶ年計画に位置づけのある路線（以下「緊急輸送道路」という）として位置づけあり</p> <p><input type="checkbox"/> 緊急輸送道路が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する</p> <p><input type="checkbox"/> 現道等の防災点検又は震災点検要対策箇所もしくは架替の必要のある老朽橋梁における通行規制等が解消される</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 現道等の事前通行規制区間、特殊通行規制区間又は冬期交通障害区間を解消する</p>	
			<p>・現道における事前通行規制区間：三條市大谷大江～三條市吉ヶ平（連続雨量80mm） 只見町大字叶津字木野根山～大字叶津字入叶津（連続雨量120mm）</p> <p>・現道における冬期通行不能区間：三條市笠堀～大谷</p>
4. 環境	地球環境の保全	<input type="checkbox"/> 対象道路の整備により削減される自動車からのCO2排出量	
	生活環境の改善・保全	<input type="checkbox"/> 現道等における自動車からのNO2排出削減率	
		<input type="checkbox"/> 現道等における自動車からのSPM排出削減率	
		<input type="checkbox"/> 現道等で騒音レベルが夜間要請限度を超過している区間について、新たに要請限度を下回ることが期待される区間がある	
		<input type="checkbox"/> その他、環境や景観上の効果が期待される	
5. その他	他のプロジェクトとの関係	<input type="checkbox"/> 道路の整備に関するプログラム又は都市計画道路整備プログラムに位置づけられている	
		<input type="checkbox"/> 他機関との連携プログラムに位置づけられている	
		<input type="checkbox"/> その他、対象地域や事業に固有の事情等、以上の項目に属さない効果が見込まれる	

費用と便益の内容

※便益は、災害時の迂回解消を含めた走行時間の短縮 等

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・BP・その他の別
一般国道289号	八十里越	L=11.8km	一次改築	BP

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
1,600	2	北陸地方整備局

① 費用

	事業費	維持管理費	合計
基準年	平成22年度		
単純合計	574億円	38億円	612億円
うち残事業分	216億円	38億円	254億円
基準年における 現在価値 (C)	637億円	13億円	650億円
うち残事業分	170億円	13億円	184億円

② 便益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合計
基準年	平成22年度			
供用年	平成28年度、平成34年度			
単年便益 (初年便益)	16億円	6.9億円	2.2億円	25億円
基準年における 現在価値 (B)	435億円	228億円	42億円	706億円
うち残事業分	435億円	228億円	42億円	706億円

交通状況の変化（全体）

様式－3①

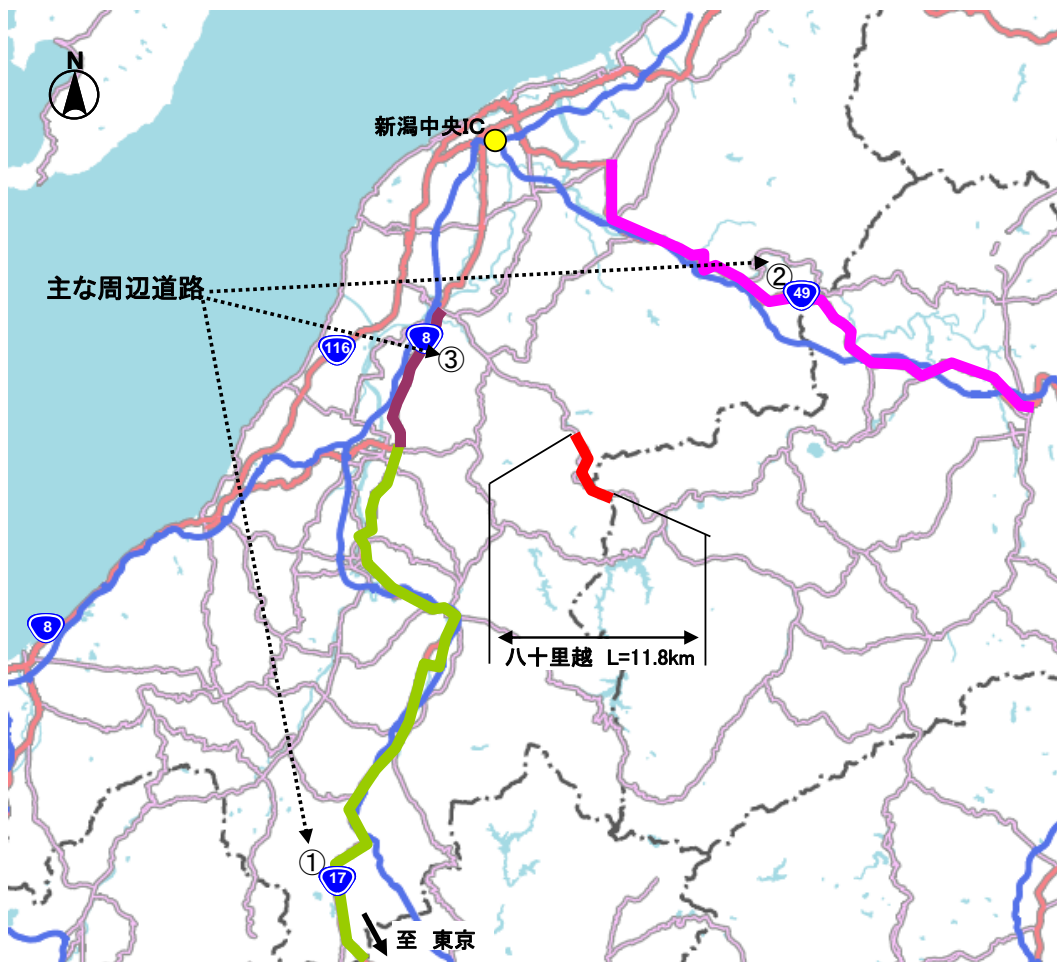
事業名： 八十里越

（推計時点 H42年）

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路 〔バイパス等〕 :11.8km	交通量	[台/日]	0	1,600	
	走行時間	[分]	0.0	16.7	
	走行時間費用	[億円/年]	0.00	5.91	
②主な周辺道路	①国道17号線 :307.7km	交通量	[台/日]	6,300	5,700
		走行時間	[分]	391.9	391.2
		走行時間費用	[億円/年]	474.22	425.15
	②国道49号線 :99.7km	交通量	[台/日]	5,200	4,600
		走行時間	[分]	122.8	122.3
		走行時間費用	[億円/年]	119.21	101.02
	③国道8号線 :24.3km	交通量	[台/日]	32,400	32,200
		走行時間	[分]	30.6	30.6
		走行時間費用	[億円/年]	173.63	171.64
		交通量	[台/日]	0	0
		走行時間	[分]	0.0	0.0
		走行時間費用	[億円/年]	0.00	0.00
	交通量	[台/日]	0	0	
	走行時間	[分]	0.0	0.0	
	走行時間費用	[億円/年]	0.00	0.00	
③その他道路合計 :7877.9km	走行時間費用	[億円/年]	6,332.74	6,367.77	

			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計：8321.4km	走行時間短縮便益	[億円/年]	7,099.80	7,071.49	28.31

(2) 図面(①、②に該当する道路を明示すること)



算出の条件

事業名：八十里越

(2)

項目		チェック欄	
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (平成20年11月 国土交通省 道路局 都市・地域整備局)	<input checked="" type="checkbox"/>	
	その他	<input type="checkbox"/>	
分析の基本的事項	分析対象期間	50年間	
	社会的割引率	4%	
	基準年次	平成22年	
交通流推計	交通流の推計時点	1時点のみ推計	<input checked="" type="checkbox"/>
		複数時点での推計	<input checked="" type="checkbox"/> (H17、H42)
	推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計	<input checked="" type="checkbox"/>
		整備の有無のいずれかのみ推計	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
		いずれかのみ の推計の場合	いずれかのみ の推計とした理由を記載
	推計に用いた OD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)	<input checked="" type="checkbox"/> (H17センサス)
		パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)	<input type="checkbox"/>
		その他()	<input type="checkbox"/>
	開発交通量の 考慮	無	<input checked="" type="checkbox"/>
		有	<input type="checkbox"/>
		有の場合のみ	考慮した開発交通量(トリップ数) 考慮した理由を記載
	配分交通量の 推計手法	Q-V式を用いた配分	<input type="checkbox"/>
転換率式を用いた配分		<input type="checkbox"/>	
Q-V式と転換率式の併用による配分		<input checked="" type="checkbox"/>	
均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)		<input type="checkbox"/>	
簡易手法		<input type="checkbox"/>	
簡易手法の 採択理由		小規模事業である	<input type="checkbox"/>
		山間部海岸部で併行道路が少ない	<input type="checkbox"/>
	その他()		
	簡易手法の考え方(将来交通量の設定方法等)		
	その他()	<input type="checkbox"/>	
速度設定の 考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付け して設定	<input checked="" type="checkbox"/>	
	採用理由を記載 交通量が、交通容量(Qmax~Qmin)以上の路線、交通容量(Qmax~Qmin)の路 線等が混在した配分結果となっているため、費用便益算出においては、速度差の 生ずる「加重平均速度」を用いた。		
	最終配分の速度	<input type="checkbox"/>	
	採用理由を記載		
	その他()	<input type="checkbox"/>	

(3)

項目		チェック欄		
便益の算定	休日交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	面的に考慮	<input type="checkbox"/>
			対象路線のみ考慮	<input type="checkbox"/>
		採用した休日係数 () % 休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の考え方を記載		
	災害等による通行止めの影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	採用した通行止め日数 () 日 採用した通行止め日数の考え方を記載	
	とり止め交通を考慮する とり止め交通を考慮しない場合はその理由、考慮した場合はその考え方を記載		<input type="checkbox"/>	
	冬期交通の影響	考慮しない	<input type="checkbox"/>	
考慮する		<input checked="" type="checkbox"/>		
考慮する場合のみ		採用した冬期日数(年あたり) (148) 日 採用した冬期日数の考え方を記載		
		降雪が最初に観測された日から最後に観測された日までの日数を考慮 冬期の走行速度と交通容量の関係 設定の考え方を記載 通常期と冬期の速度比を考慮		
交通流推計の時点以外の便益の算定	ブロック別・車種別走行台キロの伸び率による設定	<input checked="" type="checkbox"/>		
	その他 ()	<input type="checkbox"/>		
車種別時間価値原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用 算出根拠を添付すること	<input type="checkbox"/>		
車種別走行経費原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用 算出根拠を添付すること	<input type="checkbox"/>		
交通事故減少便益算定	中央分離帯の有無を考慮	<input type="checkbox"/>		
	中央分離帯の有無を考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>		
走行時間短縮・走行経費減少・交通事故減少以外の便益	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>		
	考慮する (考慮の場合、算出根拠を添付すること)	<input type="checkbox"/>		
その他				

費用の現在価値算定表(全体)

		維持管理費の単価の算出(消費税相当額含む)					
				単価(億円)	延長(km)	単価(億円)	
				0.067	11.8	0.79	
年次	年度	割引率 4.0%	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単価	現在価値	単価	現在価値
-30年目	S 61	2.5633	94.6	0.50	1.24		
-29年目	S 62	2.4647	94.4	1.00	2.38		
-28年目	S 63	2.3699	94.9	1.00	2.28		
-27年目	H 1	2.2788	97.4	1.70	3.63		
-26年目	H 2	2.1911	99.6	2.70	5.42		
-25年目	H 3	2.1068	102.0	2.91	5.49		
-24年目	H 4	2.0258	103.4	4.86	8.69		
-23年目	H 5	1.9479	103.7	8.06	13.82		
-22年目	H 6	1.8730	103.6	9.13	15.07		
-21年目	H 7	1.8009	103.0	9.71	15.50		
-20年目	H 8	1.7317	102.4	7.87	12.15		
-19年目	H 9	1.6651	103.4	11.53	16.95		
-18年目	H 10	1.6010	102.8	15.24	21.67		
-17年目	H 11	1.5395	101.3	18.39	25.52		
-16年目	H 12	1.4802	99.7	27.06	36.68		
-15年目	H 13	1.4233	98.4	20.59	27.19		
-14年目	H 14	1.3686	96.6	28.67	37.08		
-13年目	H 15	1.3159	95.4	29.82	37.55		
-12年目	H 16	1.2653	94.4	19.11	23.39		
-11年目	H 17	1.2167	93.2	16.84	20.07		
-10年目	H 18	1.1699	92.5	32.86	37.94		
-9年目	H 19	1.1249	91.7	27.72	31.05		
-8年目	H 20	1.0816	91.3	20.95	22.66		
-7年目	H 21	1.0400	91.3	23.52	24.46		
-6年目	H 22	1.0000	91.3	18.76	18.76		
-5年目	H 23	0.9615	91.3	16.38	15.75		
-4年目	H 24	0.9246	91.3	14.58	13.48		
-3年目	H 25	0.8890	91.3	16.77	14.91		
-2年目	H 26	0.8548	91.3	18.58	15.88		
-1年目	H 27	0.8219	91.3	19.81	16.28		
供用開始年次	H 28	0.7903	91.3	21.33	16.86	0.75	0.59
1年目	H 29	0.7599	91.3	24.76	18.82	0.75	0.57
2年目	H 30	0.7307	91.3	27.50	20.09	0.75	0.55
3年目	H 31	0.7026	91.3	21.90	15.39	0.75	0.53
4年目	H 32	0.6756	91.3	20.36	13.76	0.75	0.51
5年目	H 33	0.6496	91.3	14.29	9.28	0.75	0.49
6年目	H 34	0.6246	91.3			0.75	0.47
7年目	H 35	0.6006	91.3			0.75	0.45
8年目	H 36	0.5775	91.3			0.75	0.43
9年目	H 37	0.5553	91.3			0.75	0.42
10年目	H 38	0.5339	91.3			0.75	0.40
11年目	H 39	0.5134	91.3			0.75	0.39
12年目	H 40	0.4936	91.3			0.75	0.37
13年目	H 41	0.4746	91.3			0.75	0.36
14年目	H 42	0.4564	91.3			0.75	0.34
15年目	H 43	0.4388	91.3			0.75	0.33
16年目	H 44	0.4220	91.3			0.75	0.32
17年目	H 45	0.4057	91.3			0.75	0.30
18年目	H 46	0.3901	91.3			0.75	0.29
19年目	H 47	0.3751	91.3			0.75	0.28
20年目	H 48	0.3607	91.3			0.75	0.27
21年目	H 49	0.3468	91.3			0.75	0.26
22年目	H 50	0.3335	91.3			0.75	0.25
23年目	H 51	0.3207	91.3			0.75	0.24
24年目	H 52	0.3083	91.3			0.75	0.23
25年目	H 53	0.2965	91.3			0.75	0.22
26年目	H 54	0.2851	91.3			0.75	0.21
27年目	H 55	0.2741	91.3			0.75	0.21
28年目	H 56	0.2636	91.3			0.75	0.20
29年目	H 57	0.2534	91.3			0.75	0.19
30年目	H 58	0.2437	91.3			0.75	0.18
31年目	H 59	0.2343	91.3			0.75	0.18
32年目	H 60	0.2253	91.3			0.75	0.17
33年目	H 61	0.2166	91.3			0.75	0.16
34年目	H 62	0.2083	91.3			0.75	0.16
35年目	H 63	0.2003	91.3			0.75	0.15
36年目	H 64	0.1926	91.3			0.75	0.14
37年目	H 65	0.1852	91.3			0.75	0.14
38年目	H 66	0.1780	91.3			0.75	0.13
39年目	H 67	0.1712	91.3			0.75	0.13
40年目	H 68	0.1646	91.3			0.75	0.12
41年目	H 69	0.1583	91.3			0.75	0.12
42年目	H 70	0.1522	91.3			0.75	0.11
43年目	H 71	0.1463	91.3			0.75	0.11
44年目	H 72	0.1407	91.3			0.75	0.11
45年目	H 73	0.1353	91.3			0.75	0.10
46年目	H 74	0.1301	91.3			0.75	0.10
47年目	H 75	0.1251	91.3			0.75	0.09
48年目	H 76	0.1203	91.3			0.75	0.09
49年目	H 77	0.1157	91.3	-2.59	-0.30	0.75	0.09
合計				574.17	636.84	37.50	13.25
単純事業費計				574.17		37.50	

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
 このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
 (投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

費用の現在価値算定表(残事業)

箇所名: 八十里越

維持管理費の単価単価の算出(消費税相当額含む)

年次	年度	割引率 4.0%	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純価値	現在価値	単純価値	現在価値
				0.067		11.8	
							0.79
-30年目	S 61	2.5633	94.6				
-29年目	S 62	2.4647	94.4				
-28年目	S 63	2.3699	94.9				
-27年目	H 1	2.2788	97.4				
-26年目	H 2	2.1911	99.6				
-25年目	H 3	2.1068	102.0				
-24年目	H 4	2.0258	103.4				
-23年目	H 5	1.9479	103.7				
-22年目	H 6	1.8730	103.6				
-21年目	H 7	1.8009	103.0				
-20年目	H 8	1.7317	102.4				
-19年目	H 9	1.6651	103.4				
-18年目	H 10	1.6010	102.8				
-17年目	H 11	1.5395	101.3				
-16年目	H 12	1.4802	99.7				
-15年目	H 13	1.4233	98.4				
-14年目	H 14	1.3686	96.6				
-13年目	H 15	1.3159	95.4				
-12年目	H 16	1.2653	94.4				
-11年目	H 17	1.2167	93.2				
-10年目	H 18	1.1699	92.5				
-9年目	H 19	1.1249	91.7				
-8年目	H 20	1.0816	91.3				
-7年目	H 21	1.0400	91.3				
-6年目	H 22	1.0000	91.3				
-5年目	H 23	0.9615	91.3	16.38	15.75		
-4年目	H 24	0.9246	91.3	14.58	13.48		
-3年目	H 25	0.8890	91.3	16.77	14.91		
-2年目	H 26	0.8548	91.3	18.58	15.88		
-1年目	H 27	0.8219	91.3	19.81	16.28		
供用開始年次	H 28	0.7903	91.3	21.33	16.86	0.75	0.59
1年目	H 29	0.7599	91.3	24.76	18.82	0.75	0.57
2年目	H 30	0.7307	91.3	27.50	20.09	0.75	0.55
3年目	H 31	0.7026	91.3	21.90	15.39	0.75	0.53
4年目	H 32	0.6756	91.3	20.36	13.76	0.75	0.51
5年目	H 33	0.6496	91.3	14.29	9.28	0.75	0.49
6年目	H 34	0.6246	91.3			0.75	0.47
7年目	H 35	0.6006	91.3			0.75	0.45
8年目	H 36	0.5775	91.3			0.75	0.43
9年目	H 37	0.5553	91.3			0.75	0.42
10年目	H 38	0.5339	91.3			0.75	0.40
11年目	H 39	0.5134	91.3			0.75	0.39
12年目	H 40	0.4936	91.3			0.75	0.37
13年目	H 41	0.4746	91.3			0.75	0.36
14年目	H 42	0.4564	91.3			0.75	0.34
15年目	H 43	0.4388	91.3			0.75	0.33
16年目	H 44	0.4220	91.3			0.75	0.32
17年目	H 45	0.4057	91.3			0.75	0.30
18年目	H 46	0.3901	91.3			0.75	0.29
19年目	H 47	0.3751	91.3			0.75	0.28
20年目	H 48	0.3607	91.3			0.75	0.27
21年目	H 49	0.3468	91.3			0.75	0.26
22年目	H 50	0.3335	91.3			0.75	0.25
23年目	H 51	0.3207	91.3			0.75	0.24
24年目	H 52	0.3083	91.3			0.75	0.23
25年目	H 53	0.2965	91.3			0.75	0.22
26年目	H 54	0.2851	91.3			0.75	0.21
27年目	H 55	0.2741	91.3			0.75	0.21
28年目	H 56	0.2636	91.3			0.75	0.20
29年目	H 57	0.2534	91.3			0.75	0.19
30年目	H 58	0.2437	91.3			0.75	0.18
31年目	H 59	0.2343	91.3			0.75	0.18
32年目	H 60	0.2253	91.3			0.75	0.17
33年目	H 61	0.2166	91.3			0.75	0.16
34年目	H 62	0.2083	91.3			0.75	0.16
35年目	H 63	0.2003	91.3			0.75	0.15
36年目	H 64	0.1926	91.3			0.75	0.14
37年目	H 65	0.1852	91.3			0.75	0.14
38年目	H 66	0.1780	91.3			0.75	0.13
39年目	H 67	0.1712	91.3			0.75	0.13
40年目	H 68	0.1646	91.3			0.75	0.12
41年目	H 69	0.1583	91.3			0.75	0.12
42年目	H 70	0.1522	91.3			0.75	0.11
43年目	H 71	0.1463	91.3			0.75	0.11
44年目	H 72	0.1407	91.3			0.75	0.11
45年目	H 73	0.1353	91.3			0.75	0.10
46年目	H 74	0.1301	91.3			0.75	0.10
47年目	H 75	0.1251	91.3			0.75	0.09
48年目	H 76	0.1203	91.3			0.75	0.09
49年目	H 77	0.1157	91.3	-0.60	-0.07	0.75	0.09
合計				215.66	170.43	37.50	13.25
単純事業費計				216.26		37.50	

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
 このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
 (投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

